

2013年度 活動報告書

成長戦略としてのプラチナ構想



プラチナ
社会研究会

新産業は、人が輝く暮らしから。

<http://platinum.mri.co.jp>

2013年度を振り返って

2010年4月にプラチナ社会研究会が発足し、活動を開始し4年が過ぎようとしています。研究会の趣旨にご賛同いただき参加いただいている団体は、発足当初、150団体でしたが、現在では370団体近くに達し、活発に活動が展開されています。

毎年、プラチナ社会実現に向けた提言を発表し、重点的なテーマを設けて活動を展開してきました。今年度の提言では、「全員参加型社会」を重点テーマとし、「シニアが生きがいの持てる仕事」、「女性がライフステージに応じて能力を発揮できる環境」、「若者が将来に希望が持てる職」などを提供できる社会システムを作ることなどを目指し、研究会活動を展開してきました。

分科会活動においては、「全員参加型社会」の実現に関連した「セカンドキャリア」「女性のライフスタイルから考えるプラチナワークスタイル」の分科会を精力的に活動を展開しました。また、わが国の抱える多様な課題に対応するため「公共施設マネジメント」「次世代介護サービス」「インバウンド振興研究」等の新しい分科会が立ち上がり活発に活動を展開しました。

また、ベルリン日独センターと共同で、「少子高齢化時代における企業と雇用」と題して国際シンポジウムも開催し、高齢者の就労問題について活発な議論を行いました。



三菱総合研究所
執行役員 鎌形 太郎

	若者 希望ある仕事	女性 能力を発揮できる就業機会 子育てと両立できる就業環境	シニア 社会での役割と尊敬
理念	<input type="checkbox"/> 目指すのは尊厳社会 <input type="checkbox"/> 全員に役割・NO 過労死・NO ワーキングプアー・NO フリーライダー		
コミュニティ	近居：血縁による助け合いの見直し <input type="checkbox"/> 女性の就労・世帯収入の増大 <input type="checkbox"/> シニア（親）の健康維持と安心 <input type="checkbox"/> オールドタウン問題の解決 時間や空間の制約緩和：テレワーク・サテライトオフィス プラチナコロナピア計画～シニアによる地域再生プロジェクト <input type="checkbox"/> シニアにミッション：地域の課題解決、若者の雇用創出・起業支援 <input type="checkbox"/> 受け入れ側（自治体と大学）× 送り側（企業・定年延長）のコラボ <input type="checkbox"/> 移住者の受け皿：プラチナコミュニティ、活動拠点：大学		
仕事・雇用			
制度設計	<input type="checkbox"/> プラチナ・コミュニティ（税優遇） <input type="checkbox"/> 住み替え・移住促進（相続税優遇、リバースモーゲージ拡大等） <input type="checkbox"/> 柔軟な就業制度（IT 環境、均衡処遇制度、職のプロフェッショナル化）		

プラチナ社会研究会の目指す全員参加型社会

2014年度に向けて

2012年12月に政府も安倍政権に代わり、積極的な経済政策により、国内景気はやや回復の兆しが見えてきています。しかし本格的な成長軌道にのせるには、「第3の矢」である成長戦略を効果的に実施することが重要です。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの招致が決定しました。オリンピックでは、単にスポーツイベントとして成功させるだけでなく、「オリンピック・レガシー」という概念のもと、社会的課題の解決と未来社会の実現を促進するためのトリガーとすることが重要です。

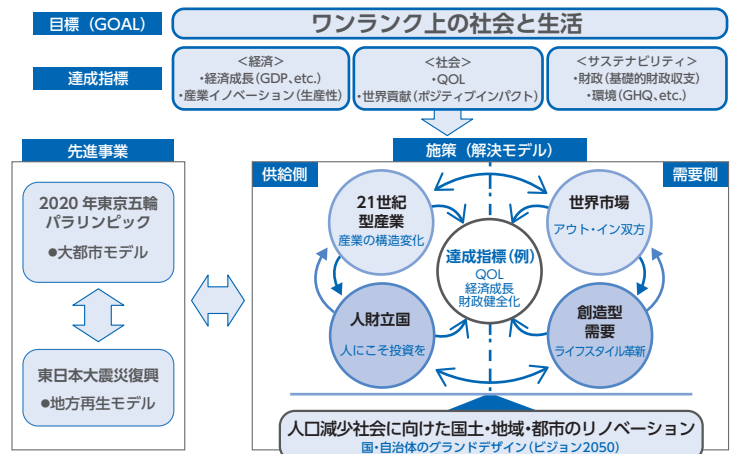
この考え方は、プラチナ社会研究会で取り組んできた、課題先進国として、日本が抱える環境や高齢化など多様な課題を世界に先駆けて解決し、新しい社会モデルとして提示するという理念にも通じるものがあります。



三菱総合研究所
研究理事 村上 清明

プラチナ社会研究会でも2014年度に（仮称）オリンピックレガシー検討会を立ち上げます。研究会のホームページにも2020年に向けた取り組みのメッセージの一つとして「2020年に向けた未来への遺産（レガシー）を～2020年までに健康寿命を2.020歳延伸」を掲げました。

2014年度はこうしたメッセージの発信やその具体化に向けた取り組みなどプラチナ構想実現に向けた活動を皆様方とより一層加速させていきたいと思えます。



三菱総研の提案する成長戦略の構造

2014年度の予定

■総会、分科会の予定（2014年2月時点）

2014年

4月	2014年度総会第1回（4/18） （仮称）オリンピック・レガシー検討会第1回（4/23） プラチナ・ファイナンス分科会第1回
5月	自治体分科会（国土強靱化）第1回 自治体分科会（医療ビジョン）第1回 公共施設マネジメント検討会第1回
6月	2014年度総会第2回 自治体分科会（国土強靱化）第2回 （仮称）オリンピック・レガシー検討会第2回
7月	自治体分科会（国土強靱化）第3回 自治体分科会（医療ビジョン）第2回 プラチナ・ファイナンス分科会第2回
9月	（仮称）オリンピック・レガシー検討会第3回
10月	2014年度総会第3回 プラチナ・ファイナンス分科会第3回

10月	自治体分科会（医療ビジョン）第3回 公共施設マネジメント検討会第2回
12月	（仮称）オリンピック・レガシー検討会第4回

2015年

1月	2014年度総会第4回 プラチナ・ファイナンス分科会第4回
3月	プラチナ・ファイナンス分科会第5回

■海外視察の予定

2014年9～10月 ヨーロッパ（環境・福祉まちづくり）
2015年2～3月 アメリカ（CCRC*）

注

こちらに掲載されていない分科会等が今後開催される可能性もあります。また、日付が入っていないものは、変更の可能性もあります。開催が確定した分科会等については、随時事務局よりメール及び研究会HPにてお知らせします。

*Continuing Care Retirement Community

■2014年度の注目分科会

2020年に向け、未来への遺産（レガシー）構築を！

（仮称）オリンピック・レガシー検討会（代表提案者：三菱総合研究所）

分野	ビジョン	目標(2020年)
スポーツ	スポーツ文化が地域と生活に根差した社会	スポーツ実施率 70%
健康・シニア	多くの国民が健康的でアクティブな社会	健康寿命(PPK) 2.020歳延長
観光・文化	世界に開かれ、都市や地域の魅力が伝わる社会	訪日外国人 2,020万人
人財	一人一人が能力と個性を高め、発揮する全員参加社会	就業率 80%
まちづくり	課題解決先進社会	先進技術ショーケース 20ヶ所

オリンピック・レガシー・プラン体系（仮説）

東京オリンピック・パラリンピック招致決定は、開催地東京はじめ、全国に大きな高揚感を巻き起こしました。

国際オリンピック委員会（IOC）は、オリンピックによってもたらされる未来への遺産（持続的効果）「オリンピック・レガシー」についても強調しています。

当研究会は「オリンピック・レガシー」の概念が、プラチナ社会構想と多くの共通点を持つことに注目し、これまでの研究成果をふまえ、2020年を目標とした共同プロジェクトの創造に向けた取り組み（社会実装）を進めます。

検討会は4月にスタートし、第1フェーズとして年内早期にレガシー事業創出に向けた提言を行う予定です。

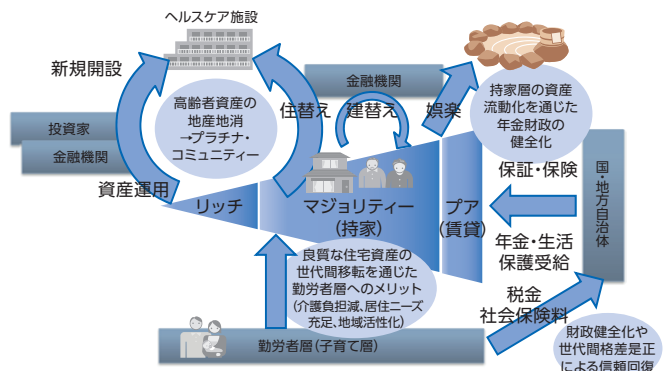
金融インフラの整備や金融技術の活用を通じて充実したシニアライフを実現

プラチナ・ファイナンス分科会（代表提案者：三菱総合研究所）

金融インフラの整備や金融技術の活用を通じて充実したシニアライフを実現するために、有識者やMRIから最新動向を報告します。シニア層のファイナンスに関わるニーズを明確化し、それらに対する円滑な資金供給を阻害する各種要因を洗い出した上で、課題解決に向けた金融インフラのあるべき姿を検討します。また関心のある企業、地方自治体、中央官庁、大学で討議を進めて参ります。

【参加頂きたい会員の皆様】

- ◇シニア向け金融商品の開発を検討している金融機関
- ◇シニア層の持家資産流動化に関心のある住宅業界
- ◇ヘルスケア施設に関心のある介護業界
- ◇金融、住宅、介護分野の関心のある中央官庁、地方自治体
- ◇シニア向け金融サービスに着目する大学・企業



2013年度の活動実績

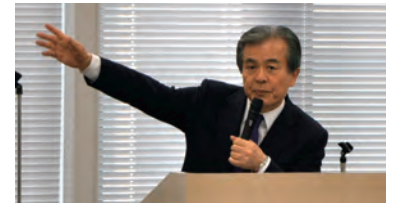
2013年

- 4月 2013年度第1回研究会総会：「全員参加型社会とビジネス機会」(①)
自治体分科会 再生可能エネルギーシリーズ Part I
第1回プラチナコミュニティ分科会
- 5月 木質資源利用拡大 先進事例調査プロジェクト緊急セミナー
自治体分科会 再生可能エネルギーシリーズ Part II、III
第1回公共施設マネジメント官民連携検討会
- 6月 2013年度第2回研究会総会：「スウェーデンの雇用政策と全員参加型社会」
第1回セカンドキャリア分科会
第1回女性のライフスタイルから考えるプラチナワークスタイル分科会
第2回プラチナコミュニティ分科会
第2回経済プロジェクト分科会
- 7月 第2回公共施設マネジメント官民連携検討会
第1回復興推進連絡会
第5回MiRalプロジェクト
第2回セカンドキャリア分科会
- 8月 第3回プラチナコミュニティ分科会
第3回セカンドキャリア分科会
- 9月 第1回インバウンド振興研究分科会
第1回次世代介護サービス研究会
第1回グローバル展開を見据えた企業とNGOの交流会
第3回経済プロジェクト分科会
第1回自治体分科会「自治体に求められる番号制度への対応」シリーズ
第3回公共施設マネジメント官民連携検討会
- 10月 2013年度第3回研究会総会：「再生可能エネルギー／木材需要拡大」
第2回女性のライフスタイルから考えるプラチナワークスタイル分科会
第2回次世代介護サービス研究会
第4回セカンドキャリア分科会
第2回自治体分科会「自治体に求められる番号制度への対応」シリーズ
第6回MiRalプロジェクト
- 11月 日独シンポジウム：「少子高齢化時代における企業と雇用」
第1回関西プロジェクト分科会
立教セカンドステージ大学創立5周年記念公開シンポジウム基調講演(②)
第2回インバウンド振興研究分科会
第3回次世代介護サービス研究会
第2回復興推進連絡会
- 12月 NHKクローズアップ現代出演(③)
2013年度大学分科会特別セミナー：「COCから始まる地域と大学の同時改革」
第8回MiRalプロジェクト
第4回経済プロジェクト分科会
- 2014年
- 1月 2013年度第4回研究会総会：「成長戦略と地域発ものづくり革命」
第4回次世代介護サービス研究会
(仮称)オリンピック・レガシー検討会 企画説明会
公共施設マネジメント官民連携検討会特別セミナー
- 2月 第5回セカンドキャリア分科会
第2回グローバル展開を見据えた企業とNGOの交流会

①2013年度第1回研究会総会 (2013年4月26日)

三菱総合研究所理事長 小宮山 宏

基調講演「プラチナ社会の実現に向けて」を行いました。
「プラチナ社会」の背景として世界の現状、日本の歴史を語った上で、衣食住・移動・情報・長寿を手にしたあとは量から質への転換が重要であると説明しました。さらに、プラチナ社会の必要条件を示した上で、モノも心も「限界を超えた成長」を目指すべきとまとめました。



②立教セカンドステージ大学創立5周年記念 公開シンポジウム(2013年11月17日)

主席研究員 松田 智生

基調講演「プラチナ社会研究実現に向けた大学の新たな役割」を行いました。大学で学んだ成果をいかに地域社会に活かすか、国内外の事例から成功のポイントと今後のシニア大学のビジョンについて報告しました。



③NHKクローズアップ現代 (2013年12月10日)

主席研究員 松田 智生

NHKクローズアップ現代「団塊パワーを活用せよ～アクティブシニアが地域を変える～」(NHK 総合)に出演しました。「シニアは社会のコストでなく担い手」の視点から、シニアの地域社会デビューの成功・失敗要因、そして社会で考えるべき制度設計をコメントしました。



第1回「全員参加型社会とビジネス機会」

「高齢者のセカンドキャリアビジネス」

NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
永沢 映氏



高齢者のセカンドキャリアビジネスのポイントを具体的事例を交えてご説明いただきました。また、コミュニティビジネスを支えるコーディネータ、プレイヤー、サポーターの役割の重要性についてもお話いただきました。

「女性の視点から見たビジネスイノベーション」

日経BP社ビズライフ局長/日経ウーマン発行人
麓 幸子氏



女性の社会参加に関する課題、特にM字カーブ改善方を提示していただきました。また、女性の力を活かすことは若年層や男性の活力も引き出すことにもつながるというお話でした。

上記講演のほかに、「プラチナ提言 2013」が提案され、全員参加型社会の重要性が今年度のテーマとなりました。

第2回「スウェーデンの雇用政策と全員参加型社会」

「人的資源の最大化をめざす社会—スウェーデンの労働・雇用政策」

明治大学 国際日本学部 教授
鈴木 賢志氏



ご自分のスウェーデン在住時代の経験を交え、スウェーデンの各種システムについてわかりやすく説明していただきました。

高福祉国家は人的資源を最大限に活用していることを強調されました。

「全員参加型社会に向けた取り組み—高齢者の新たな職域開拓」

NPO法人日本シンクタンク・アカデミー理事長
岡本 憲之氏



高齢者の活躍領域はビジネス・公務的活動と地域・社会貢献的活動から構成され、特にビジネスとして高齢者派遣、地域ビジネス、ナノコーポを提案されました。

第3回「再生可能エネルギー／木材需要拡大」

「再生可能エネルギー—活用とまちづくりへの展望」

三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部
園山 実氏



3回シリーズで実施した自治体分科会の内容に加え、地域エネルギーの最近の動向を紹介しました。再生可能エネルギーを活用したまちづくりでは、長期的視点の重要性を強調しました。

「我が国の森林・林業、木材・木質バイオマス利用の新たな可能性」

株式会社アルファフォーラム 代表取締役社長
小林 靖尚氏



当研究会で実施したオーストリア視察ツアーでの知見をもとに、日本の林業が参考とすべきポイントについて解説していただきました。木質バイオマスについては国内の先進事例が紹介されました。

第4回「成長戦略と地域発ものづくり革命」

「ウェブ社会からファブ社会へ」

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授
田中 浩也氏
准教授
寛 康明氏

3D プリンターが拓く新しい世界についてお話をしていただきました。ウェブ社会の到来が様々な社会変革をもたらしたように、デジタル・ファブリケーションも世の中に大きな影響を与えるだろうという内容で、その萌芽としてファブラボ（実験工房）における高齢者と子供たちのふれあい、介護分野における3Dプリンターの可能性などの事例紹介を含め、非常に興味深い話でした。



上記講演のほかに、三菱総合研究所より「2014年経済見通し（武田洋子）、三菱総研が提案する我が国の成長戦略（村上清明）、プラチナ社会のシニアマーケット（鎌形太郎）に関する講演が行われました。

主な分科会の紹介

高齢者が「負担」ではなく「担い手」として活躍する場を

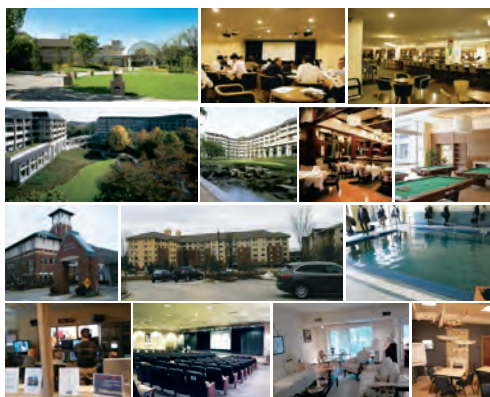
プラチナコミュニティ分科会

(代表提案者：三菱総合研究所)

プラチナコミュニティ分科会は 2012 年度の CCRC ビジネス分科会と大学 CCRC 分科会を改組改称したものです。

日本版 CCRC では、シニアがこれまで学び、培ってきた経験、知識、知見をもとに社会の担い手として活躍する場を付加することが望まれると考え、これをプラチナコミュニティと呼ぶことにしました。

わが国でプラチナコミュニティを推進していく上での参考とするために、米国 CCRC や国内 CCRC 等の視察を行いました。2014 年 3 月には米国大学連携 CCRC の視察を行います。



林業の持つ成長ポテンシャルを体感

木質資源利用拡大先進事例調査

(代表提案者：アルファフォーラム)

世界第 2 位の森林資源国でありながら木材自給率 4 割というわが国の現状を変え、木材・バイオマス利用の飛躍を図りたい。その手がかりを得るため先進国オーストリア視察を行いました。

小規模所有、急峻な山地、わが国に類似の条件のもと、オーストリア林業は輝いています。山林活用、先端木造技術、地域バイオマス活用事業まで、木質資源を余すところなく利用する姿に、多くの知見を得て帰国しました。

視察団のメンバーが共同でバイオマス利用の熱供給事業の検討を開始するなど、実践的な成果が生まれています。

日本の林業復活へ頑張ります。



迫り来るインフラクライシスを官民で打破

公共施設マネジメント官民連携検討会

(代表提案者：流山市・三菱総合研究所)

多くの公共施設が建替え時期を迎えています。人口減少、財政逼迫の中で、深刻化する課題。解決の大きな鍵は官民連携にあるはず。官民のウィン・ウィンの関係をどう築いていけるか。

従来の枠を超える取り組みを生み出したいとの思いで、行政と民間企業が一同に会し、3回にわたり密着した議論を行いました。

自治体の先進的取組に刺激を受け、民間企業の提案に現状打開の可能性を探る機会となりました。

課題の大きさから、今後も年 2 回程度の検討会を継続し、より実効的な解決策へとつなげていきます。

これまで

施設白書の作成

施設適正化計画

保全計画

これから

遊休・余剰財産の活用

具体的なコストの縮減

行政の仕組みの変革

計画から
実践へ



自治体と企業の連携で地方再生を

自治体分科会

(代表提案者：三菱総合研究所)

自治体に関係の深い課題として「再生可能エネルギー」と「番号制度」を取り上げ、それぞれをシリーズで展開しました。各回、官民の参加者の下に講演と意見交換を行い、政策の動向を知るとともに、民間の力を活用した地域における加速的・効果的な取扱推進に向けた方策について考えました。

◆「再生可能エネルギー」シリーズ (2013 年 4 月～ 5 月)

	テ ー マ
第 1 回	メガソーラー発電事業の動向と課題
第 2 回	再生可能エネルギーを活用した地域づくり
第 3 回	官民交流会

◆「番号制度」シリーズ (2013 年 9 月～ 10 月)

	テ ー マ
第 1 回	自治体における番号制度を活用した業務改革
第 2 回	自治体における情報照会・情報提供に向けた準備



各回の概要は、三菱総合研究所公式サイト「自治体チャンネル」でご覧いただけます。



URL : <http://www.mri.co.jp/opinion/column/localweb/>

主な分科会の紹介

陽は西から昇る！ 関西発イノベーション

関西プロジェクト (代表提案者：三菱総合研究所)

関西・西日本でのプラチナ社会の実現を目指し、地域の将来を見据えたテーマをオムニバス形式で取り上げ、最新情報の紹介とMRIからの提案を行っています。関西・西日本では全国平均を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進むと予測され、地方自治体の財政も全国と比べても厳しい状況にあるなかで、新産業創造と地域活性化の一つのツールとして、第一回は関西版CCRCのあり方を報告しました。

日程	テーマ	内容
2013年秋	プラチナコミュニティ	関西・西日本地域における日本版CCRC(プラチナコミュニティ)のビジョン
2014年	文化・エンターテインメントによるまちづくり	
2014年	再生可能エネルギーを活用した地域活性化	

● 関西プロジェクトの講師 ●



主任研究員
本田 えり子



主席研究員
松田 智生



主席研究員
稲垣 公雄

経済動向とプラチナ課題をプロジェクション(投影)

経済プロジェクト (代表提案者：三菱総合研究所)

注目すべきマクロ経済の動きや国の経済政策をビジネスの視点から読み解き、参加者の方と意見交換、議論しながら、プラチナ課題の解決と経済成長を同時に実現するための可能性を探っていくことを狙いとして、今年度4回シリーズで実施しました。

少人数のイブニングセミナー方式で、毎回、講師と参加者が以下のテーマについて大いに語りあいました。

	マクロ経済	プラチナ課題
第1回	経済見通し：2013春	環境・エネルギーと経済成長
第2回	経済見通し：2013夏	政府の成長戦略について
第3回	経済見通し：2013秋	雇用問題～世代間競争から共創へ～
第4回	経済見通し：2013冬	Made in Japan 2025 ～日本のものづくりはどう変わる～

● 経済プロジェクトの講師 ●

(マクロ経済)



三菱総合研究所
チーフエコノミスト
武田 洋子

(プラチナ課題)



三菱総合研究所
研究理事
村上 清明

アクティブシニアの第二の人生“アンコールライフ”を実現

セカンドキャリア分科会 (代表提案者：立教セカンドステージ大学)

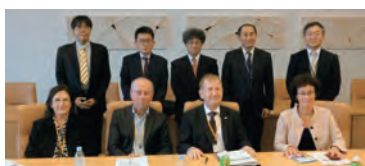
リタイアシニアの起業や社会貢献といった「再挑戦」を活性化システム作りをテーマに、立教セカンドステージ大学のシニア学生(実践者)から挑戦事例と「再挑戦を阻む壁、成功の鍵」を提起して頂き、それに対してシニアとの連携・支援にビジネス機会を創う企業、NPO、若者、行政、大学が逆提案をぶつけ熱い議論を繰り広げています。この成果を元に書籍出版、日独国際シンポジウムを開催しました。



フロネシス10
“シニアが輝く日本の未来”



アクティブシニアの“再挑戦”トライアル
「都会シニアによる地域活性化コンサル」



2013年11月開催日独シンポジウム
「少子高齢化時代における企業と雇用」

女性の女性による女性のためのワークスタイル提案

女性のライフスタイルから考える プラチナワークスタイル分科会 (代表提案者：博報堂・凸版印刷)

2013年度は安倍内閣の成長戦略により、「女性の活躍」が脚光を浴びた1年でした。日本の女性就労は、M字カーブ(育児期女性の離職)やリーダーが少ないなど、多くの課題があります。企業にとっても今後の成長に大きく影響する、女性のワークスタイルについて、働く女性が集い、学び、議論しました。

2013年12月にWEBアンケートを実施し、その結果をもとに提言を取りまとめる予定です。

	内容
第1回	講演「日本アイ・ビー・エムのテレワーク」&ワークショップ
第2回	講演「経済社会における女性の活躍への期待」&ワークショップ
第3回 (3月上旬予定)	アンケート結果報告 & 提言に向けた検討 (1)
第4回 (3月下旬予定)	提言に向けた検討 (2)



研究会で唯一の
参加者女性限定の
分科会です。

お申し込み方法

■下記サイトをご覧ください。（サイトからフォーム入力によるお申し込みが可能です）

<http://platinum.mri.co.jp/society/application>

■お申し込み受領後、三菱総研による資格確認があり、1週間をめどに結果通知をいたします。
その後、請求書を発行いたします。（他の支払い方法については、別途、事務局にご相談ください）

年会費

■正会員 A：民間企業、一般社団法人、一般財団法人 …… 一口5万円（税別）

■正会員 B：地方自治体 …… 無料

■賛助会員：大学、研究機関、公益社団法人、公益財団法人、独立行政法人 …… 無料

※正会員 A は、一口あたり2名まで参加可能です。

※会員の方には、研究会プレゼン資料、プロジェクト提案のご案内等をメール・WEBサイト等でご提供します。

※社会実験プロジェクト等参加費は、上記の年会費とは別にプロジェクト毎にご負担いただくことになります。

※各事業分野での競合排除は行いません。研究会から生まれる社会実験プロジェクト等提案の参加者は、
都度提案者の意向を踏まえて決定されます。ビジネス、資金の獲得を保証するものではありません。

本件に関するお問い合わせ先・お申し込み先

株式会社三菱総合研究所 プラチナ社会研究会事務局
（担当：楢垣、川上、宇都宮、北原）

<http://platinum.mri.co.jp>

TEL：03-6705-6009 E-Mail：platinum@mri.co.jp



プラチナ社会研究会

新産業は、人が輝く暮らしから。